

**平成23年度
鳥取県青少年育成意識調査報告書
【概要版】**

**平成24年3月
鳥取県**

1 調査の目的

- ・ 青少年及び保護者の意識並びに行動を調査することにより、その実態を的確に把握し、青少年施策の基礎資料を得ること。(5年ごとに実施)
- ・ また、調査結果は、平成23年度に策定した「とっとり若者自立応援プラン」の基礎資料とした。

2 調査対象・方法

無作為抽出した県内在住の青少年、保護者 合計5,237名を対象に調査票を配布、回収した。
(内訳)

区 分	調査票 配布数A	調査票不達B	回収数C	回収率(%) D=C/(A-B)
小学2年生(児童)	416	0	412	99.0
小学5年生(児童)	434	0	428	98.6
中学2年生(生徒)	501	0	460	91.8
高校2年生(生徒)	418	1	404	96.9
保 護 者	1,768	1	1,586	89.8
小学2年生	415	0	401	96.6
小学5年生	434	0	392	90.3
中学2年生	501	0	427	85.2
高校2年生	418	1	366	87.8
青 年(19~29歳)	1,700	22	495	29.5
合 計	5,237	24	3,785	72.6

3 調査の基準日 平成23年7月1日

4 主な調査内容

基本的な生活習慣、家庭でのしつけ、家庭生活の満足度、青少年自身の心(自己肯定感・悩みなど)、対人関係、ひきこもりの状況、など

5 報告書の見方

- (1) 「n」は質問に対する有効回答者数で、割合(100%)が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 質問には、全員が1つの回答を選ぶもののほか、1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問がある。2つ以上を回答する質問では、1つの選択肢の回答者の合計を有効回答者数で割った比率である。(各選択肢の比率の合計は、100%を超える。)また、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問がある。
- (3) 結果数値は、小数点以下第二位を四捨五入してあるので、内訳の合計が計(100.0%)に一致しないこともある。
- (4) 本文中の「問」は、特に断わりがないものは、高校2年生の調査票の問を記載している。
- (5) 前回調査(平成17年)と比較するグラフ、表などで、「-」と表示されている項目は、当該調査でその選択肢がなかったことを示す。

6 調査についての問い合わせ先

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局青少年・家庭課
電 話 0857-26-7076

7 調査結果の概要

(1) 家族・家庭

ア 同居家族

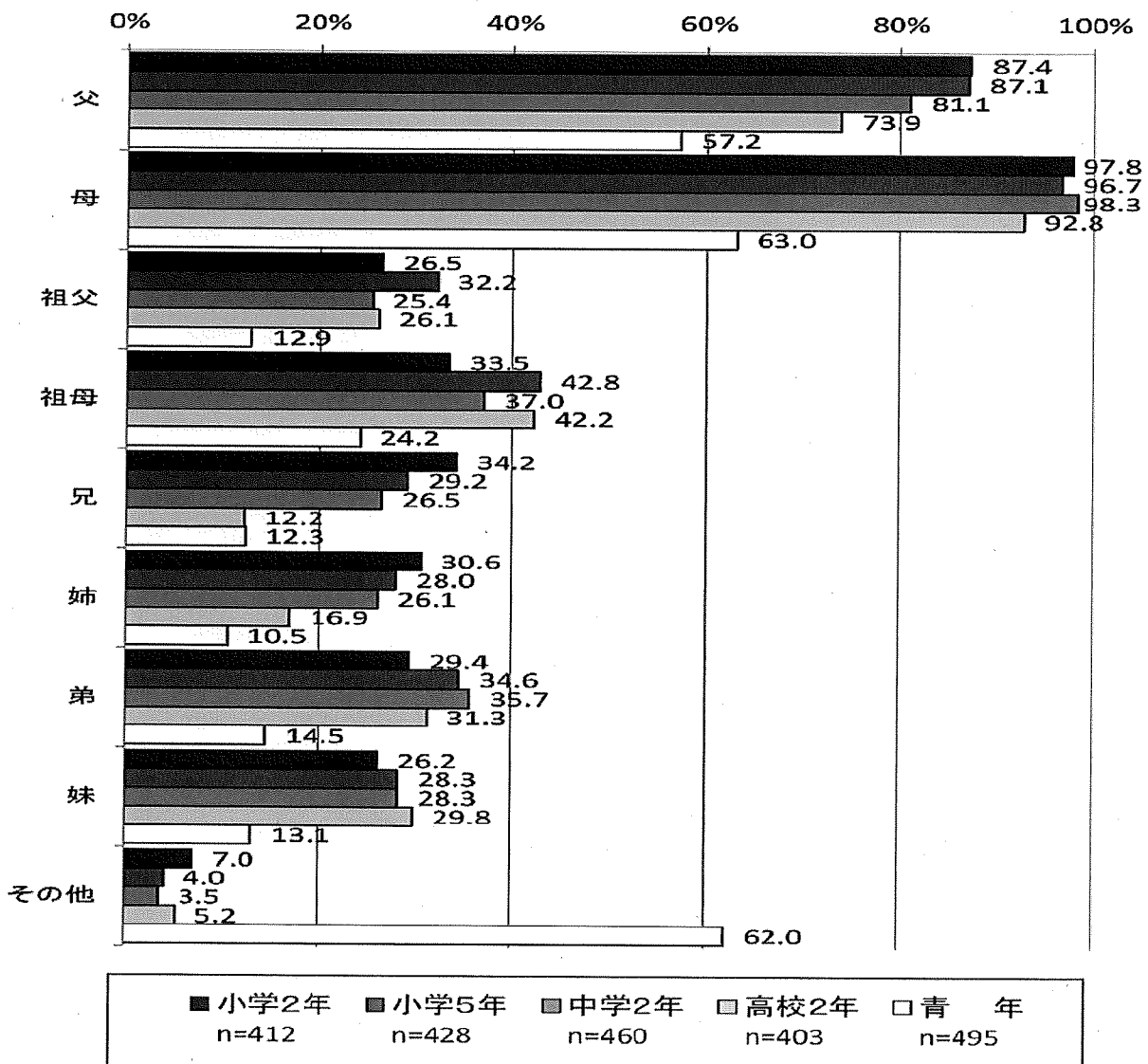
【問】

今、あなたといっしょに住んでいるのはだれですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

父の同居の割合と母の同居の割合を比較すると、全ての年代で10～20%母の同居の割合が高い。父の同居の割合は、年代が上がるにつれて低下している。また、母の同居の割合は、小学2年から高校2年まで90%以上、青年のみ63%となっているが、父の同居の割合は、小学2年から中学2年は80%以上だが、高校2年で74%、青年57%と母親より早い時期に同居の割合が低下し始めている。

青年の「その他」62%の内訳は、「配偶者」は23.6%、「ご自身のお子さん」15.6%、「その他の人」5.7%、「同居家族はいない」17.2%である。

同居家族

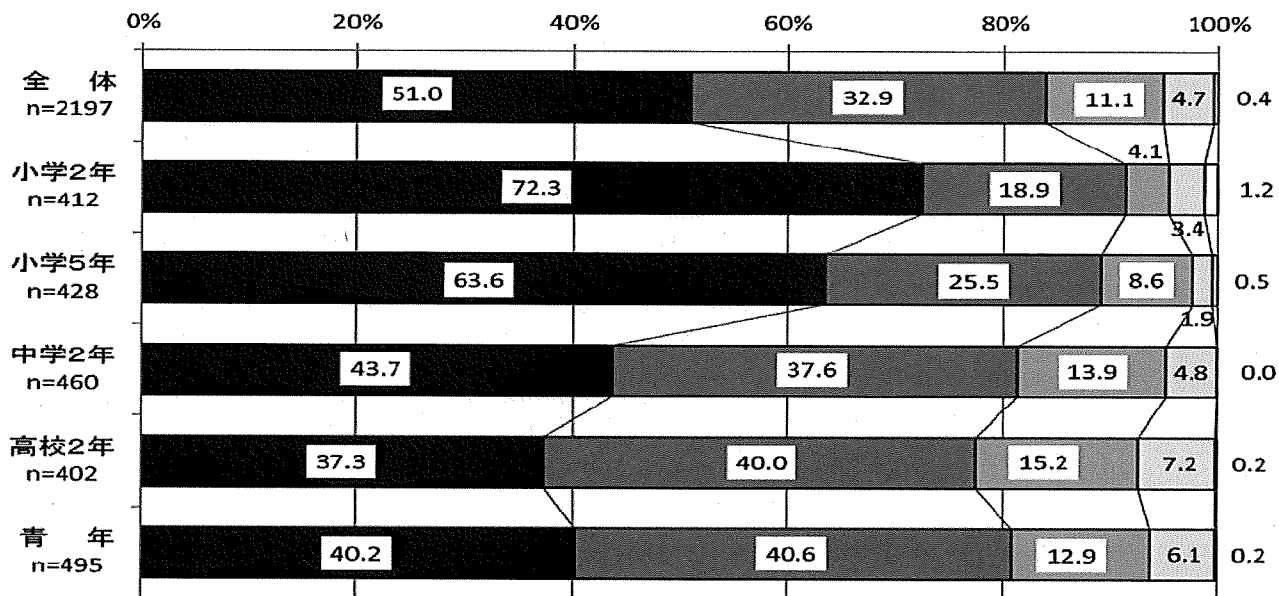


イ 家庭生活の満足度

【問】
 あなたは、家庭での生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

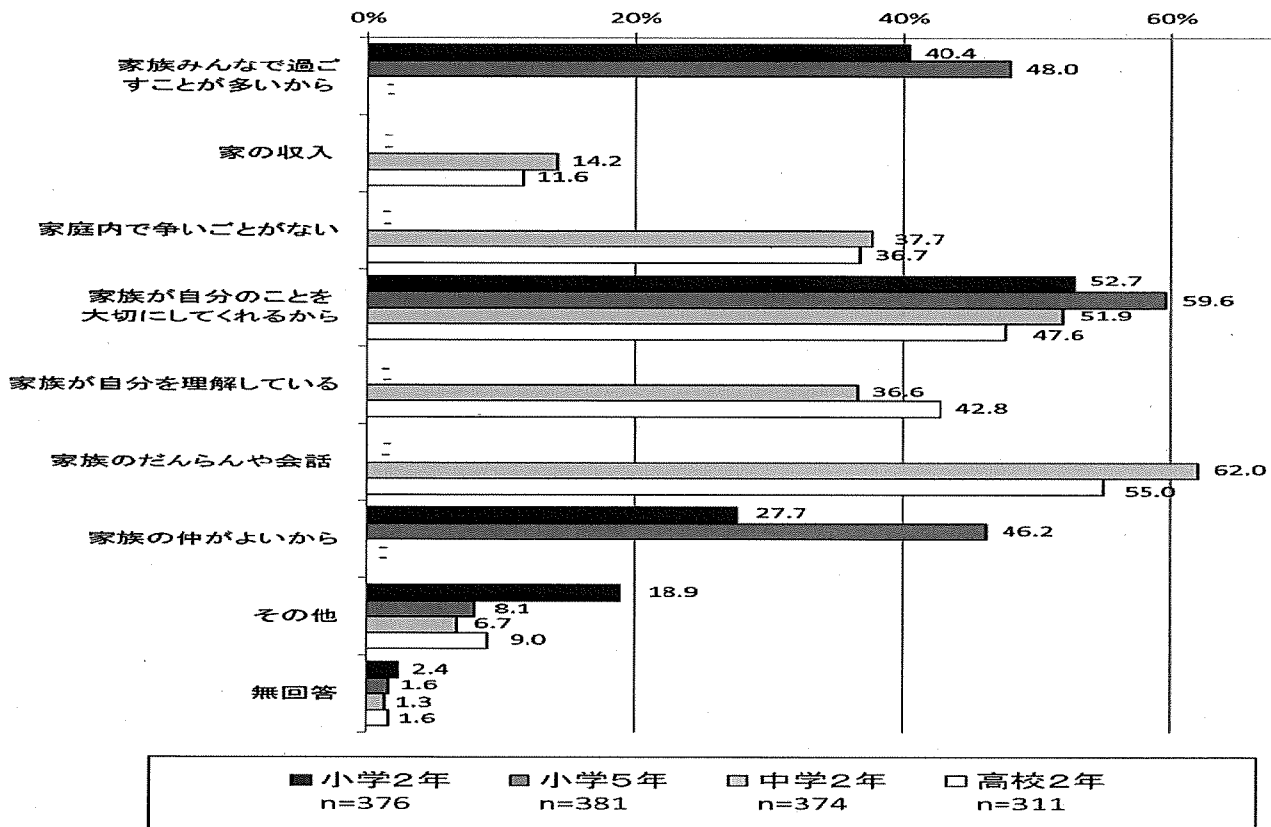
「満足している」の割合は、年代が大きくなるにしたがい低くなっているが、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた割合は、各年代とも概ね8割を超えている。

家庭生活の満足度

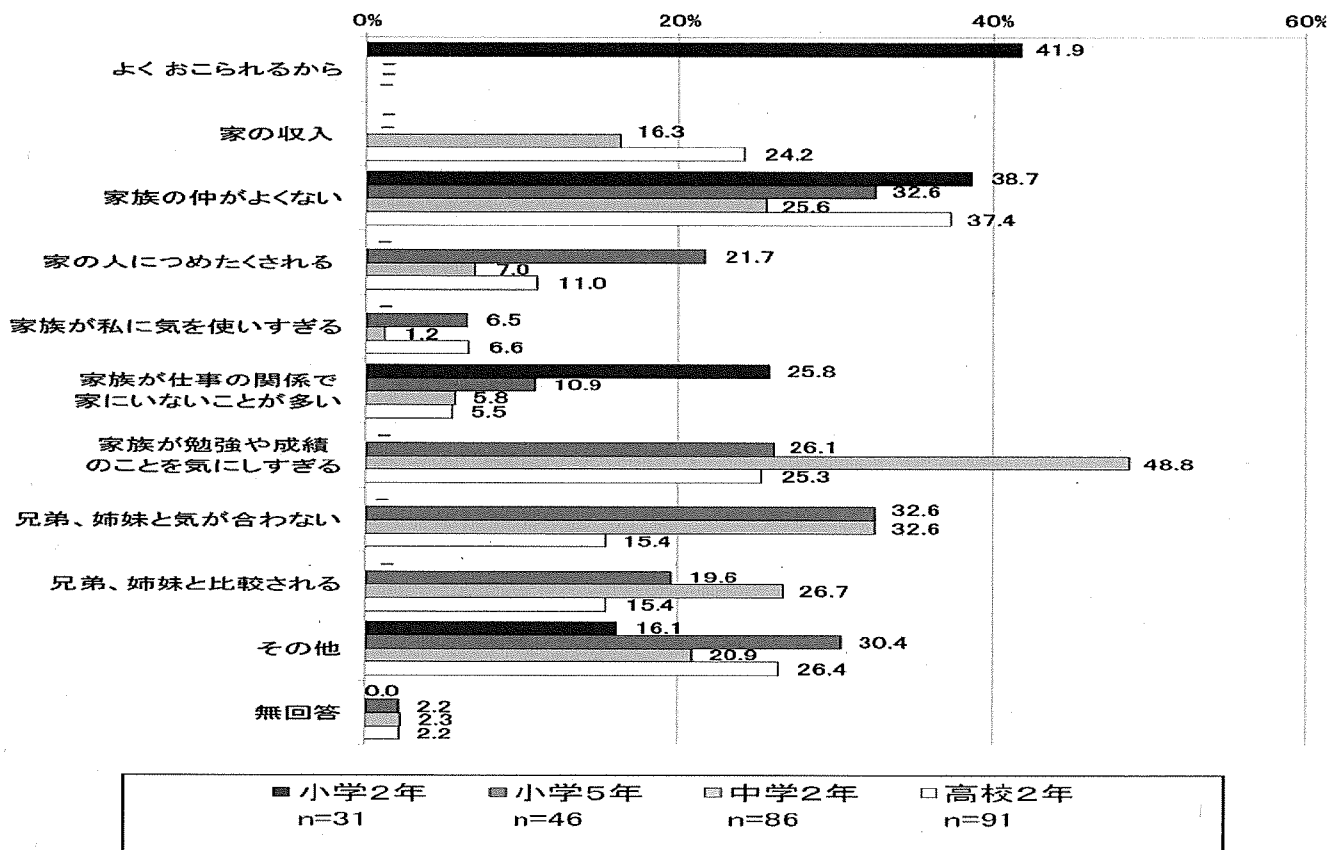


<p>■ 満足している (はい)</p> <p>■ あまり満足していない (どちらかといえはいえ)</p> <p>□ 無回答</p>	<p>■ ほぼ満足している (どちらかといえばはい)</p> <p>■ 満足していない (いいえ)</p> <p>※() は青年の選択肢</p>
--	---

家庭生活の満足の理由



家庭生活の不満足の理由



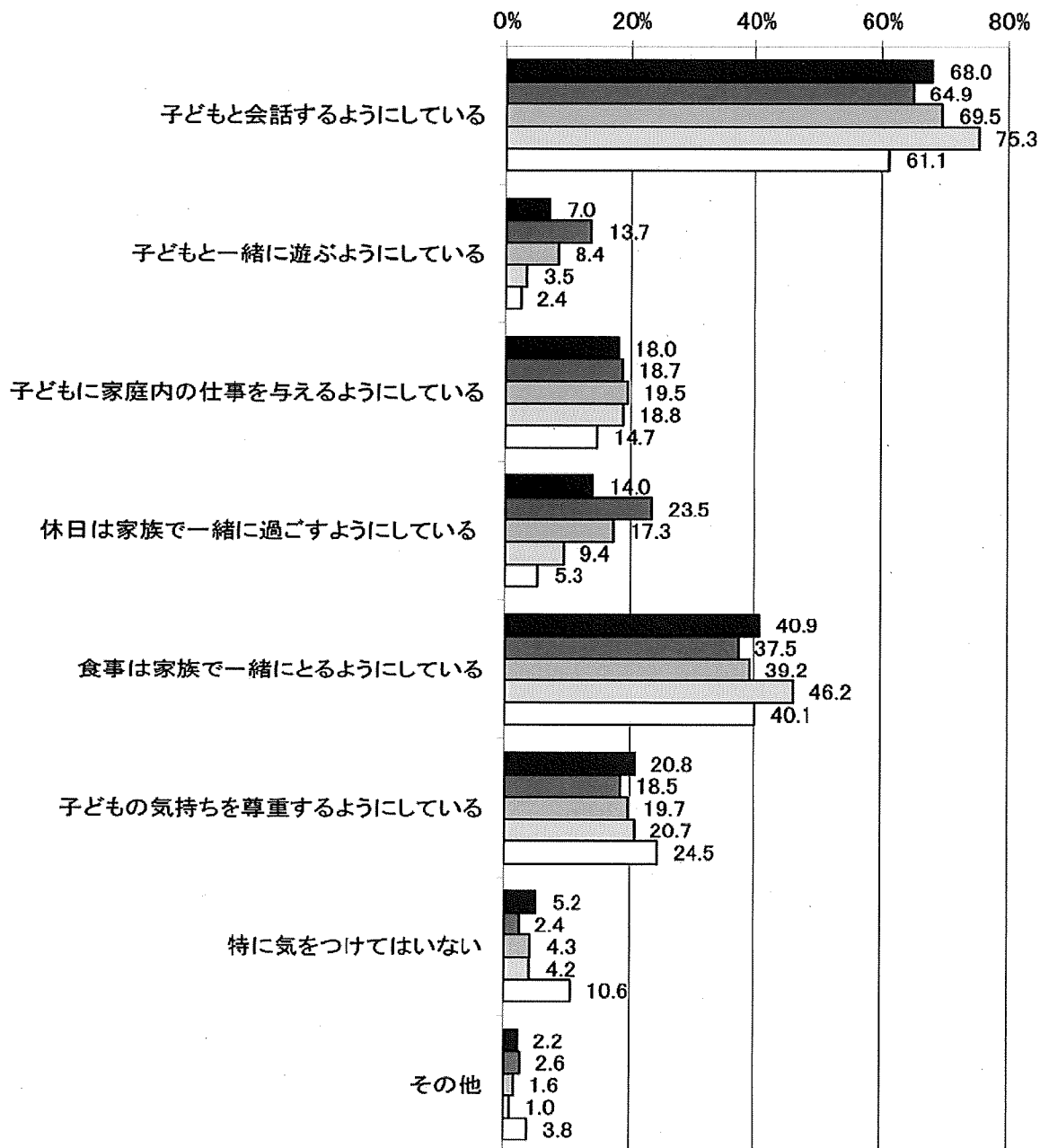
ウ 保護者が子育てで心がけていること

【問】

あなたの家庭で特に気をつけていることはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

いずれの年代でも「子どもと会話するようにしている」が一番多く、次に「食事は家族で一緒にとるようにしている」が続いている。

保護者が子育てで心がけていること



■全体 n=1493 ■小学2年 n=379 □小学5年 n=370 □中学2年 n=405 □高校2年 n=339

エ 家庭でのしつけの内容

【問】

あなたが、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）からよく注意されるのはどんなことですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。（青年と保護者は自分が家庭で受けたしつけで良かったこと）

年代別に見ていくと、小学2年は「勉強のこと」が一番多く、次に「整理・整とんのこと」、「時間を守ること」と続いている。小学5年、中学2年、高校2年はそれぞれが、「勉強のこと」が一番多く、次に「整理・整とんのこと」、「自分のことは自分ですること」の順である。

青年、保護者で自分が家庭で受けたしつけで良かったことは、割合の高い順に「礼儀正しくすること」「社会のルールを守り人に迷惑をかけないこと」「時間を守ること」であり、子で最も多い「勉強のこと」は1割に満たない。

家庭でのしつけの内容

(単位：%)

選択肢		勉強のこと	整理・整とんのこと	時間を守ること	身だしなみを整えること	金銭や物を大切にすること	礼儀正しくすること（あいさつ、ことばづかい、返事など）	自分のことは、自分ですること	自分が言ったことには責任をもつこと	ねばり強く物事をやり通すこと
小学2年	n=412	44.2	35.0	34.5	13.6	24.5	30.1	32.0	30.6	25.5
小学5年	n=424	42.9	40.6	19.3	6.1	17.2	11.8	20.5	7.5	4.5
中学2年	n=434	63.4	43.5	13.1	6.7	15.4	13.4	20.5	8.1	6.9
高校2年	n=495	45.3	36.3	12.4	7.8	12.2	17.4	18.4	7.5	3.4
青年	n=495	7.5	9.3	17.6	8.5	25.3	42.2	15.4	10.5	10.7
保護者	n=1565	4.2	7.8	22.9	7.2	26.4	48.1	24.0	10.9	13.0

選択肢		進んで新しい方法を考えること	落ち着いて行動すること	相手の立場を理解し、異なる意見を尊重すること	のをし、とることを集めて行うこと	社会のルールを守り、人を惑わさないこと	正しい行いをしよう	働くやがなとこいらいら	特に、しつけられなかった	その他	無回答
小学2年	n=412	—	23.1	20.6	17.0	26.7	—	22.1	11.2	9.0	0.2
小学5年	n=424	1.9	9.7	1.2	5.0	8.3	2.6	6.1	6.6	4.7	0.5
中学2年	n=434	1.8	5.3	3.0	1.6	7.8	5.5	3.5	6.5	3.2	0.7
高校2年	n=495	1.3	6.2	1.8	0.8	12.4	4.4	2.1	10.9	4.7	1.0
青年	n=495	1.4	2.8	11.7	4.6	34.3	11.1	6.3	8.5	2.6	0.6
保護者	n=1565	1.6	1.6	10.8	5.8	38.8	7.0	9.0	5.9	2.0	1.3

オ 基本的生活習慣

【問】

(児童・生徒)

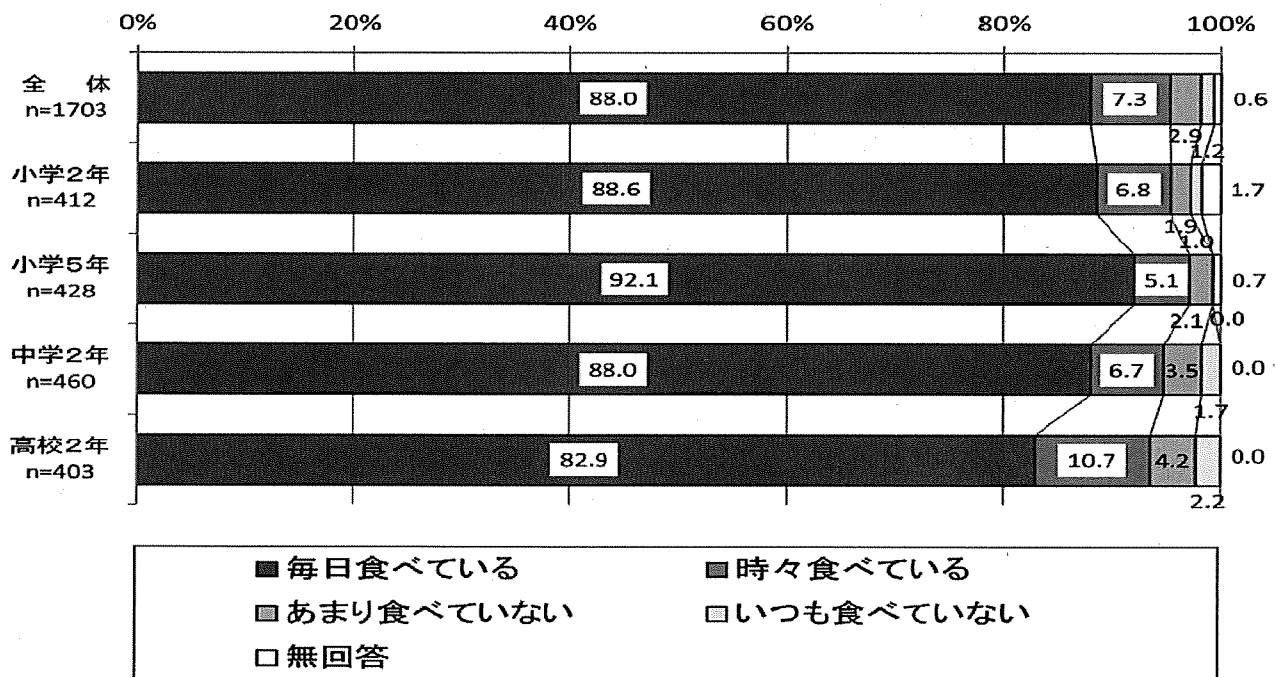
あなたは朝ご飯を食べていますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(保護者)

お子さんは朝ご飯を食べていますか。一番近いと思う番号に1つ○をつけてください。

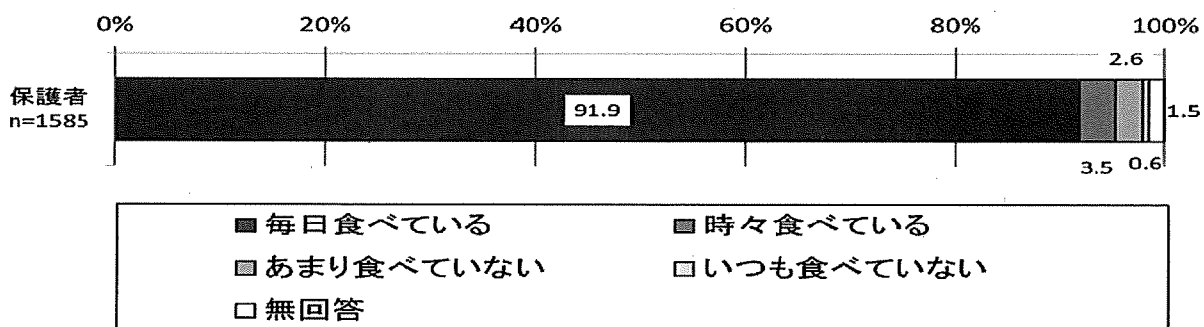
児童生徒は、どの年代でも「毎日食べている」と回答しているのはそれぞれ8割以上である。「時々食べている」を合わせると9割を超えている。

朝ご飯を食べる



保護者から見た場合、子どもが朝食を「毎日食べている」が91.9%であり、「時々食べている」を合わせると95.4%である。

朝ご飯を食べる



(2) 地域とのかかわり・地域での活動

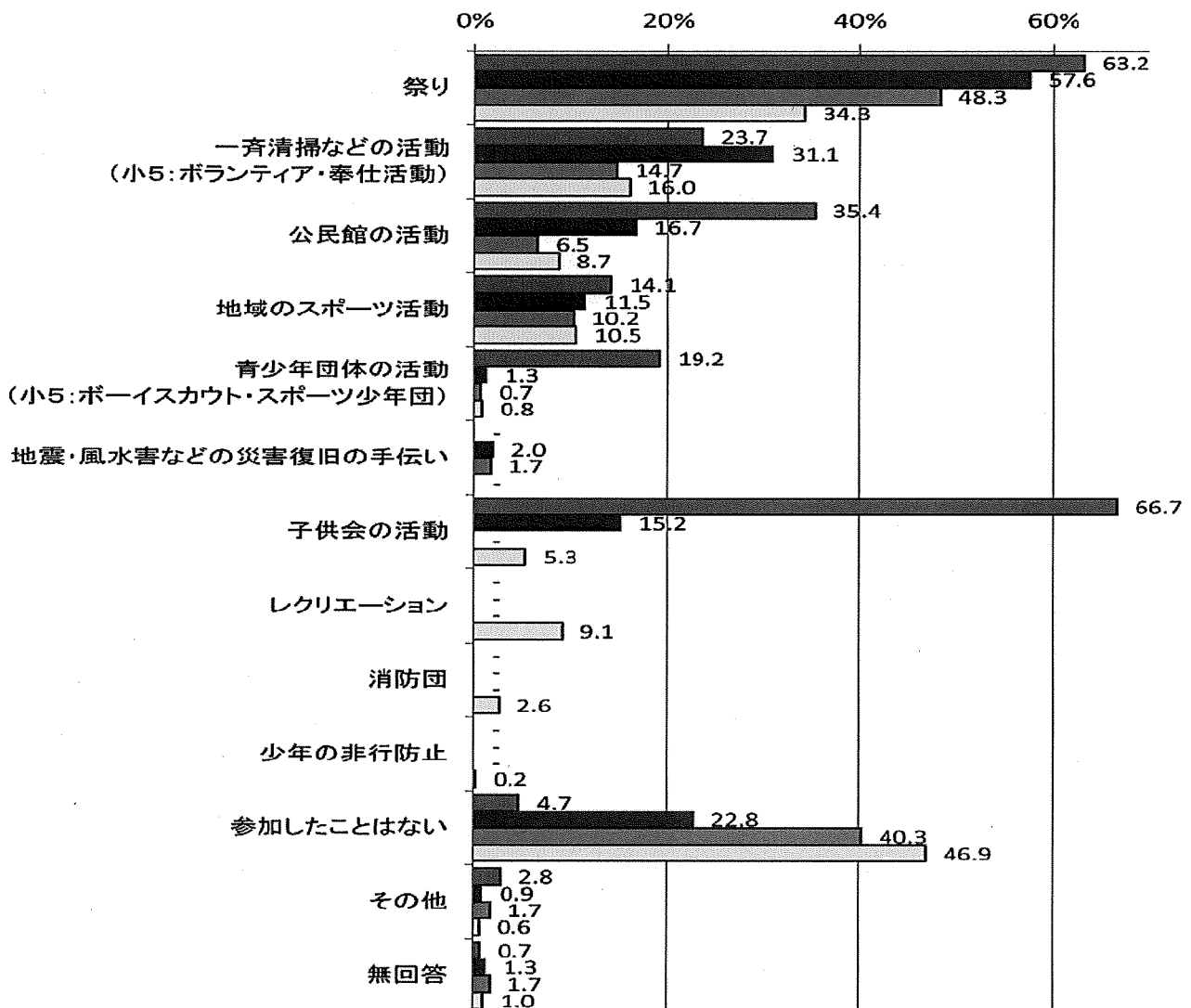
ア 地域での活動への参加状況

【問】

地域の活動の中で、この1年間にあなたが参加したものはどれですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

全体から「参加したことはない」を除いた割合は相当高く、小学5年95.3%、中学2年77.2%、高校2年59.7%、青年53.1%が、地域での活動に参加している。各年代とも「祭り」への参加が最も多くなっている。

地域での活動への参加状況



■ 小学5年 n=427 ■ 中学2年 n=460 ■ 高校2年 n=402 □ 青年 n=495

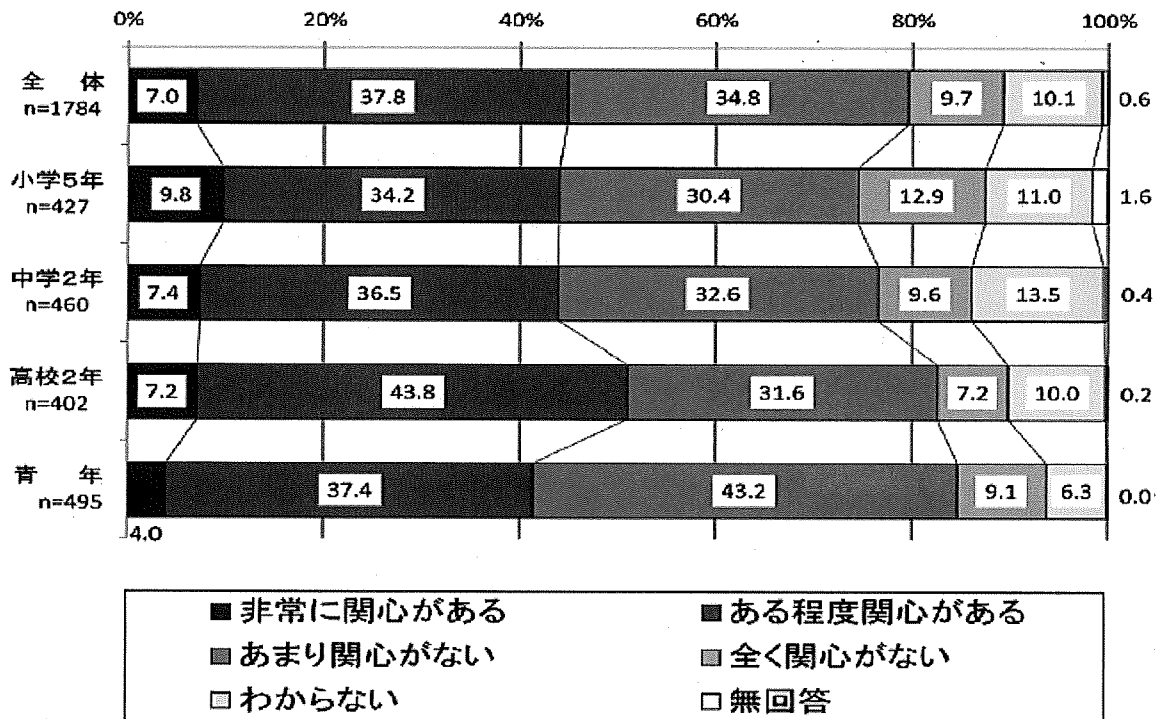
イ ボランティアへの関心

【問】

あなたは、ボランティア活動に対して、どの程度関心がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせると、各年代とも4～5割（小5＝44.0％、中2＝43.9％、高2＝51.0％、青年41.1％）となっている。

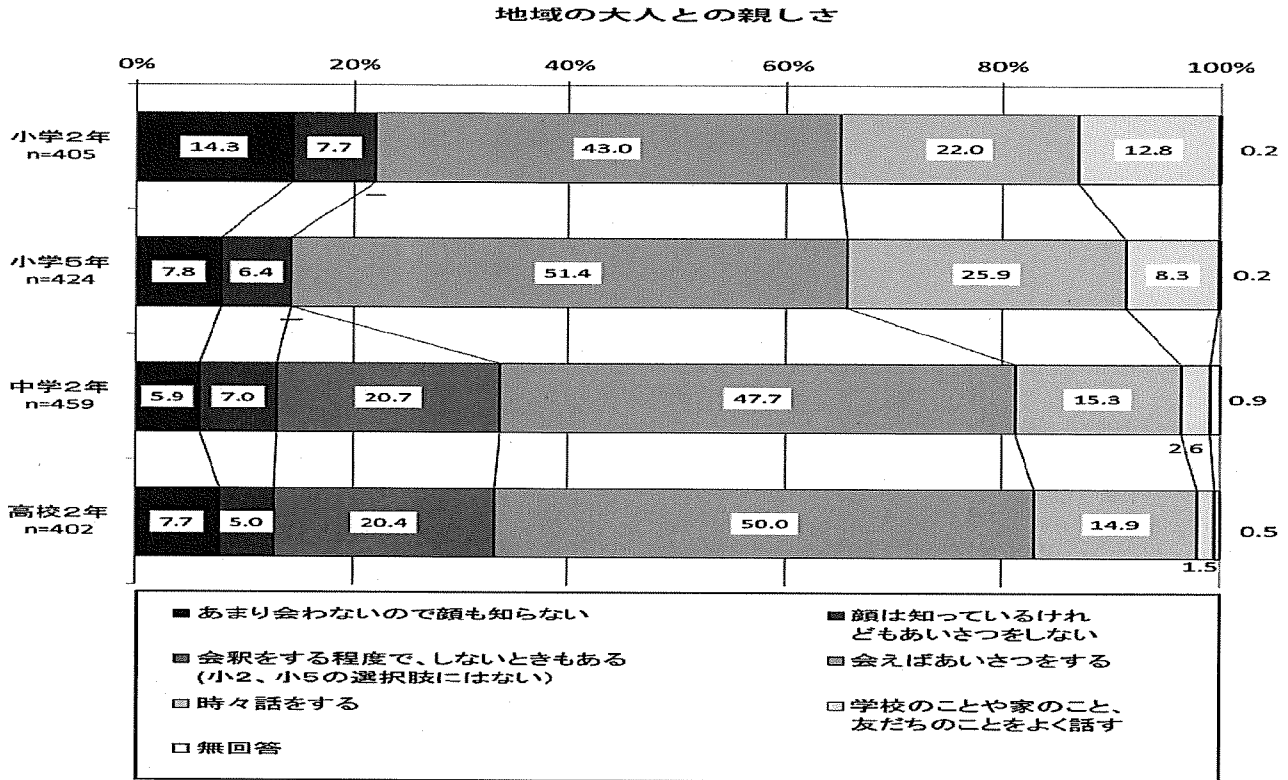
ボランティアへの関心



ウ 児童生徒と地域の大人との親しさ

【問】
あなたは、近所の大人とどの程度親しいですか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

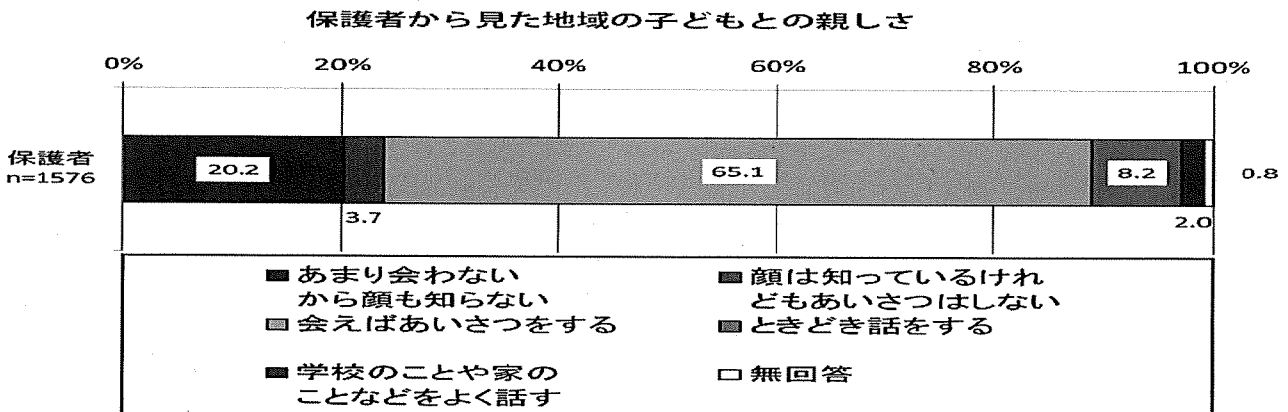
いずれの年代でも「会えばあいさつをする」が4～5割と一番多い。



エ 保護者から見た地域の子どもの親しさ

【問】
あなたは、近所の中学生・高校生とどんなつきあいをしていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

「会えばあいさつをする」が65%と一番多く、次に「あまり会わないから顔もしらない」が20%と続いている。



(3) 学校生活・学習習慣

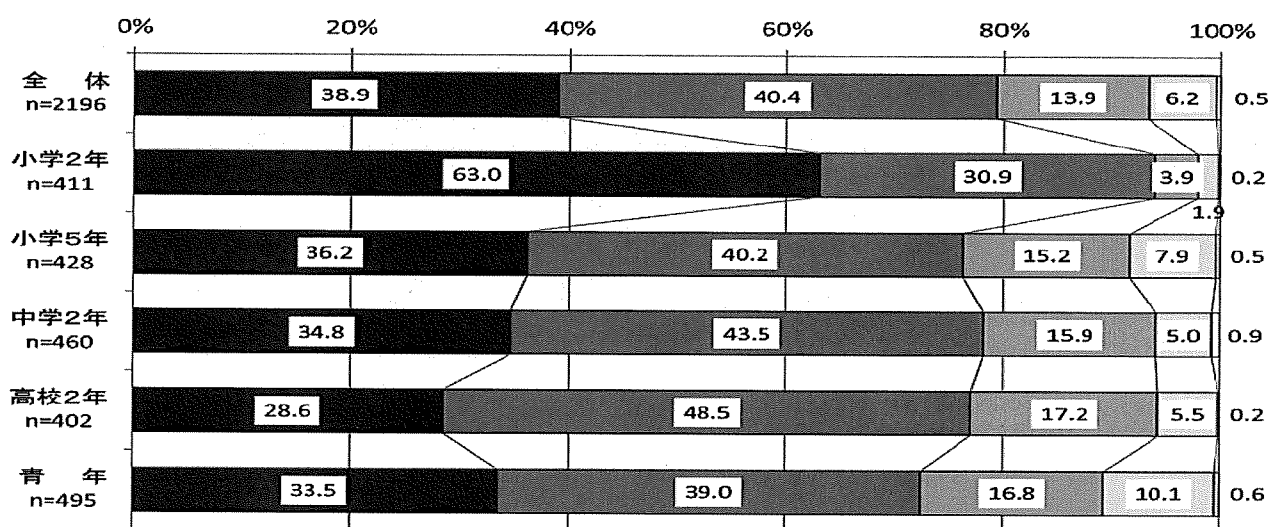
ア 学校生活の満足度

【問】

あなたは、学校生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(青年は「卒業した、または現在の学校生活について満足しているか」)

小学2年は6割以上が「満足している」と回答している。「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせると一番多く回答しているのは小学2年であり、次に中学2年、高校2年と続いている。また、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせると一番多かったのは青年で25%を超えている。

学校生活の満足度



- 満足している(はい)
- ほぼ満足している(どちらかといえばはい)
- あまり満足していない(どちらかといえいいえ)
- 満足していない(いいえ)
- 無回答

※()は青年の選択肢

イ 学習習慣

【問】

あなたは進んで勉強していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

児童生徒は、年代が大きくなるにしたがい、「よくしている」と「時々している」を合わせた割合は低くなっている。また、高校2年では「あまりしていない」と「全然していない」を合わせると5割を超えている。

進んで勉強する

